

令和5年度「産学官連携技術開発推進事業」 研究成果報告会

長野県工業技術総合センター（以下「センター」という）では、県内企業の競争力向上等を目的とし、センターの技術シーズ等を活用した産学官連携による研究開発を推進しています。この度、その一環である産学官連携技術開発推進事業の研究成果報告会を開催しますので、是非ご参加ください。

- 1 日時 令和6年（2024年）6月6日（木）13:15～16:40
- 2 開催方法 オンライン開催（Zoomウェビナー）
- 3 報告内容

発表時間	研究テーマ	発表者
13:25～	生分解樹脂製林業用資材に関する研究 林業用資材のコストダウンと耐久性の向上を目的に、生分解性素材の開発を行いました。また、資材の耐久性を促進耐候試験と強度試験により評価し、実用上問題ないことを確認しました。	信濃化学工業(株)
13:45～	ワサビに含まれる機能性成分に関する研究 センターで開発した新規分析方法を用いて、ワサビに含まれる機能性成分の含有量、および加工による消長について検討しました。	(株)マル井
14:05～	信州型ワイン残渣活用モデル構築に資する液状化技術の開発 ワイン搾汁残渣を、センターに導入された粉碎装置を用いて液状化することで、新規食品素材化の可能性を検討しました。	(有)ムラタ
14:25～	微細プレス加工技術の高度化と塑性メカニズム解明に関する研究 微細粒鋼の結晶粒径が微細曲げ加工に及ぼす影響の調査や、金型センシング技術の実用化に向けた研究など、微細・精密プレス加工技術の共同開発に取り組みました。	(株)小松精機工作所・太陽工業(株)
14:45～	休憩（15分）	
15:00～	新規部分めっき手法の開発 水溶性高分子を用いたマスキング剤を開発しました。このマスキング剤を用いた微小部分めっき工法を検討しました。	工業技術総合センター
15:20～	中山間地に適応可能な果樹用自動収穫ロボットの開発 ビジョンセンサのデータから果実をAIにより識別し、位置情報を取得することで自動収穫を行うロボットの開発を行いました。リンゴ圃場で試験した結果、自動収穫が行えることを確認しました。	
15:40～	熱伝導特性を向上させた複合セラミックスファイラーの開発 樹脂と混合した条件で10W/m/K以上の非常に高い熱伝導率を実現するファイラーを開発しました。また、製造方法について高速流動混合機によるスケールアップを検討し、実用化条件を見出しました。	
16:00～	内部構造の設計による伝熱プレートの表面温度の均熱化 伝熱プレートの表面温度の均一化を目的に、プレート内部にユニットセル構造を持ち、空隙に相変化材料を充填したモデルを試作し、実験・解析により均熱化の効果を評価しました。	
16:20～	中温中高压加工を用いた高付加価値加工食品の開発 中温中高压処理による高付加価値なソーセージ、果実コンポート、及び漬物の賞味期限延長製品の開発を試みました。	

- 4 参加料 無料
- 5 申込方法

下記の URL または 2次元コードより、6月5日（水）までにお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_-J3dcaqDSPqnU00u8jPbvA#/registration

- ・申込後、登録完了メールが自動送信されます。届かない場合は迷惑メールフォルダ等をご確認ください。メールがない場合はメールアドレスを確認後再度ご登録ください。
- ・お申込みでいただいた情報は他の用途には使用いたしません。

6 その他

- ・各発表は20分（発表15分、質疑応答5分）で行います。発表時間が前後する場合があります。
- ・発表内容についてのご質問はQ&Aで受け付けます。全てのご質問に回答できるとは限りませんので予めご了承ください。



長野県工業技術総合センター
技術連携部門 軽部 平林
TEL: 026-268-0602
E-mail: gijuren@pref.nagano.lg.jp